

災害復旧工事の設計要領 目 次

第I編 一般事項

第1章 総 則	3
第1節 一般事項	3
1-1 査定設計書作成上の留意事項	3
1-2 大規模災害における復興係数・復興歩掛について	9
1-3 総合単価	9
1-4 災害復旧工法の工夫について	11
第2節 工事費の構成	14
2-1 工事費の構成	14
第2章 工事費の積算	15
第1節 直接工事費	15
1-1 材 料 費	15
1-2 労 務 費	15
1-3 直接経費	15
第2節 間接工事費	23
2-1 総 則	23
2-2 共通仮設費	23
2-3 工 種 区 分	23
2-4 算 定 方 法	24
2-5 共通仮設費の率分	29
2-6 運 搬 費	33
2-7 準 備 費	45
2-8 事業損失防止施設費	45
2-9 安 全 費	46
2-10 役 務 費	47
2-11 技術管理費	48
2-12 営 繕 費	49
第3節 現場管理費	52
3-1 現場管理費の項目及び内容	52
3-2 現場管理費の算定	53
3-3 現場管理費率の補正	53

3 - 4	支給品の取扱い	56
3 - 5	現場管理費の積算	56
3 - 6	「処分費等」の取扱い	57
3 - 7	現場管理費の計算	57
第4節	現場発生品及び支給品運搬	60
4 - 1	適用範囲	60
4 - 2	施工概要	60
4 - 3	施工パッケージ	61
第3章	一般管理費等及び消費税相当額	65
第1節	一般管理費等	65
1 - 1	一般管理費の項目及び内容	65
1 - 2	付加利益	66
1 - 3	一般管理費等の算定	66
1 - 4	一般管理費等率の補正	66
第2節	消費税等相当額	68
第4章	数値基準	69
第1節	数値基準	69
第5章	建設機械運転労務等	73
第1節	建設機械運転労務	73
1 - 1	適用職種	73
1 - 2	労務歩掛	73
第2節	原動機燃料消費量	74
2 - 1	適用範囲	74
2 - 2	燃料消費量	74
第3節	機械運転単価表	80
第4節	一般事項	91
4 - 1	建設機械運転労務	91
4 - 2	指定事項における運転労務数量について	91
4 - 3	運転日当り運転時間 (T)	91
4 - 4	運転手を計上する機械	91
4 - 5	労務単価について	92
4 - 6	歩掛について	92
4 - 7	運転手職種別の対象機械	93

第6章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算	97
第1節 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について.....	97
第7章 災害査定設計書記載例	101
第1節 積上げ積算による査定設計書記載例(河川災害復旧工事).....	101

第Ⅱ編 共 通 工

第1章 土 工	109
第1節 土量変化率等.....	109
第2節 土 工.....	114
2-1 土 工.....	114
2-2 土工(ICT).....	146
第3節 作 業 土 工.....	156
3-1 床 掘 工.....	156
3-2 床掘工(ICT).....	164
3-3 埋 戻 工.....	167
第4節 人力運搬工.....	173
第5節 安定処理工.....	177
5-1 安定処理工.....	177
5-2 安定処理工(自走式土質改良工).....	180
第6節 土砂運搬工(不整地運搬車による運搬).....	184
第2章 共 通 工	187
第1節 法 面 工.....	187
1-1 法面整形工.....	187
1-2 法面整形工(ICT).....	196
1-3 芝 付 工.....	199
1-4 コンクリート法枠工.....	201
1-5 吹付法面とりこわし工.....	211
1-6 プレキャストコンクリート板設置工.....	214
1-7 人工張芝工.....	218
第2節 基礎・裏込砕石工.....	221
第3節 コンクリートブロック積(張)工.....	225
第4節 石積(張)工.....	259
4-1 石積(張)工.....	260
4-2 平石張工.....	270

第5節	場所打擁壁工	274
5-1	場所打擁壁工(1)	274
5-2	場所打擁壁工(2)	289
第6節	プレキャスト擁壁工	293
第7節	補強土壁工(帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁, ジオテキスタイル補強土壁)	297
第8節	補強盛土工	307
第9節	排水構造物工	314
9-1	排水構造物工	314
9-2	排水構造物工(現場打ち水路(本体))	342
9-3	排水構造物工(現場打ち集水桝・街渠桝(本体))	348
第10節	軟弱地盤処理工	354
10-1	サンドマット工	354
10-2	スラリー攪拌工	356
10-3	高圧噴射攪拌工	364
10-4	PVD工(プレファブリケイティッドバーチカルドレーン工)	381
10-5	中層混合処理工	384
10-6	中層混合処理工(ICT)	388
第11節	アンカー工(ロータリーパーカッション式)	393
第12節	構造物とりこわし工	405
第13節	コンクリート削孔工	408
第14節	ガス切断工	415
14-1	ガス切断工	415
第15節	吸出し防止材設置工	417
第16節	目地・止水板設置工	419
第17節	旧橋撤去工	425
第18節	かご工	441
第19節	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	448
第20節	現場取卸工	463
第21節	骨材再生工(自走式)	467
第22節	函渠工	471
22-1	函渠工(1)	471
22-2	函渠工(2)	478
22-3	函渠工(3) 大型プレキャストボックスカルバート工	481
第23節	殻運搬	490
第24節	排水材設置工	496
24-1	排水材設置工(構造物背面排水材)	496
24-2	排水材設置工(水平排水層)	497

第3章 基礎工	503
第1節 鋼管・既製コンクリート杭打工(パイルハンマ工)	503
第2節 鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)	510
第3節 鋼管・既製コンクリート杭打工(杭頭処理工)	518
第4節 場所打杭工(全回転式オールケーシング工)	519
第5節 場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)	527
第6節 場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)	537
第7節 泥水運搬工	557
第4章 コンクリート工	559
第1節 コンクリート工	559
第2節 型 枠 工	572
第3節 張りコンクリート工	577
第5章 仮 設 工	587
第1節 仮 設 工	587
第2節 鋼矢板(H形鋼)工	597
2-1 バイプロハンマ工	597
2-2 バイプロハンマ工(軽量鋼矢板打込引抜工)	620
2-3 油圧圧入引抜工	624
第3節 鋼矢板工(アースオーガ併用圧入工)	640
第4節 鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜工)	644
第5節 鋼矢板施工法選定表(参考)	647
第6節 仮設材設置撤去工	651
第7節 足場支保工	660
7-1 足 場 工	660
7-2 支 保 工	663
第8節 締切排水工	666
第9節 土 の う 工	671
9-1 土 の う 工	671
9-2 大型土のう工	672
第10節 仮橋・仮栈橋工	681
第11節 汚濁防止フェンス工	694
第12節 仮囲い設置・撤去工	697
12-1 仮囲い設置・撤去工	697
12-2 雪寒仮囲い工	698
第13節 仮設防護柵工(切土及び発破防護柵工)	708

第14節	濁水処理工(一般土木工事)	712
第15節	敷鉄板設置・撤去工	715
第16節	防塵処理工	718
第17節	法面工(仮設用モルタル吹付工)	721
第18節	交通誘導警備員	726

第Ⅲ編 河 川

第1章	河 川 海 岸	729
第1節	消波根固めブロック工	729
第2節	消波根固めブロック工(ブロック撤去工)	761
第3節	捨 石 工	765
第4節	消 波 工	768
第2章	河川維持工	783
第1節	伐木除根工	783
第2節	塵芥処理工	794
第3節	粗朶沈床工	806
第4節	多自然型護岸工	811
4-1	巨石積(張)工	811
4-2	木杭打工	819
4-3	巨石据付工	820
第5節	護岸基礎ブロック工	822
第6節	かごマット工	829
6-1	かごマット工(スロープ型)	829
6-2	かごマット工(多段積型)	831
第7節	ブロックマット工	835
第8節	袋詰玉石工	839
第9節	笠コンクリートブロック据付工	842
第10節	グラウトホール工	846
第11節	連節ブロックの水中吊落し工	849
第3章	砂 防 工	853
第1節	土 工	853
〔1〕	土 工	853
〔2〕	土工(ICT)	864
第2節	コンクリート工	870

〔1〕	コンクリート工	870
〔2〕	コンクリート工（ケーブルクレーン打設）	879
〔3〕	残存型枠工	886
第3節	養生工（練炭）	892
第4節	仮締切工	893
4-1	砂防土砂仮締切・砂防大型土のう仮締切	893
4-2	砂防コンクリート仮締切	898
第4章	地すべり防止工	903
第1節	集水井工 しゅうすいせい （ライナープレート土留工法）	903
第2節	地すべり防止工（集排水ボーリング工）	911
第3節	地すべり防止工（山腹水路工）	919
第4節	地すべり防止工（ふとんかご）	932
第5節	集排水ボーリング孔洗浄工	935

第Ⅳ編 道 路

第1章	舗装工	941
第1節	路盤工	941
1-1	路盤工	941
1-2	路盤工（ICT）	951
第2節	アスファルト舗装工	958
第3節	コンクリート舗装工	969
第2章	付 属 施 設	975
第1節	防護柵設置工	975
1-1	ガードケーブル設置工	975
第2節	立入り防止柵工	980
〔1〕	立入り防止柵工	980
〔2〕	箱抜き工	987
第3章	道路維持修繕工	989
第1節	路面切削工	989
第2節	舗装版破碎工	995
第3節	舗装版切断工	1000
第4節	舗装版削孔工（アスファルト舗装版）	1004

第4章 共同溝工	1007
第1節 電線共同溝工(C・C・BOX)	1007

第V編 建設機械経費

第1章 機械経費	1027
第1節 請負工事機械経費積算要領	1027
第2節 建設機械損料表の見方について	1033
第3節 建設機械等損料算定表	1037

第VI編 参考資料

第1章 歩 掛(参考)	1129
第1節 アンカー式空石積工	1129
第2節 連続繊維補強土工	1134
第3節 落石防護柵設置工(人力施工)	1140
第2章 設計資料	1143
第1節 基礎資料	1143
1-1 流速計算表	1143
1-2 丸太材積(立方メートル)	1145
1-3 鋼材諸元	1147
1-4 河川港基準面一覧表	1150
第2節 設計資料	1151
2-1 のり面保護工選定資料	1151
2-2 ブロック積	1155
2-3 擁壁設計資料	1163
2-4 地すべりの安定解析と安全率	1172
2-5 地すべり防止工法例	1186
2-6 アンカー工の設計・施工	1193
2-7 護岸用鋼矢板選定についての留意点(参考)	1196
2-8 鋼矢板護岸(査定参考)	1196
2-9 一般鉄筋コンクリート設計資料	1231
2-10 コンクリートの養生について	1234
2-11 仮締切堤設置基準(案)	1235
2-12 鋼矢板二重式仮締切工法	1239
2-13 砂防堰堤設計資料	1239

2-14	橋梁計画に関する資料	1242
2-15	海岸の根固工，消波工の設計	1247
第3章 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について		1249
第1節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について		1249
1-1	これまでの改定経緯	1249
1-2	平成30年の改定について	1250
1-3	ガイドラインの位置付け	1251
1-4	災害復旧の基本的な考え方	1251
1-5	原形復旧のポイントについて	1254
1-6	改良復旧のポイントについて	1259
1-7	多自然川づくりアドバイザー制度等	1266
1-8	参 考	1267
第2節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」ガイドラインの改定について		1269
〔参考資料〕 激甚な災害後の大規模な河川整備における一層の河川環境の保全を目指して －「多自然型川づくり」アドバイザー制度の創設－		1299
第3節 環境に配慮した海岸の災害復旧		1302
第4節 改良復旧事業の取扱いと事業計画策定について		1305
第5節 改良復旧事業の事例		1318
第4章 災害復旧工法について		1329
第1節 河川護岸工法検討例		1329
第2節 復旧工法の事例		1331
第3節 多様な護岸工法の試み事例		1346
第4節 そ の 他		1358
主要技術基準及び参考図書		1361